

令和3年1月18日

新型コロナウイルス感染症発生に伴う対応について【第6報】

1月10日(日曜)に当グループが運営する介護老人保健施設希望の杜(大和町)の職員が PCR 検査で陽性と判定されました。

1月11日から12日で、その職員が勤務していたフロアのご利用者および職員全員の PCR 検査を行い、15日までに全て陰性と報告されました。その後、発熱などの症状が新たに出現したご利用者2名および職員1名の3名に PCR 検査を随時行った結果、本日(1月18日)、ご利用者1名が陽性と判定されました。第一例の職員との接触歴があり、感染経路は特定されております。他の2名は陰性でした。いずれも重篤ではありません。施設では当初から感染対策顧問(厚労省クラスター対策班)とともに感染管理を実施しておりますが、今回の発生を受けてさらに徹底して参ります。

通所リハビリテーションおよび短期入所療養介護(当該フロア以外)につきましては、保健所より、施設内で当該フロア以外に感染が広がっている状況ではないことから営業を継続して構わないとの指導であり、介護ニーズの高さを勘案して営業を継続することと致しました。

また、保健所による当該フロアの濃厚接触者の特定につきましては、今後の保健所の調査後に判明いたします。随時、皆さまと情報を共有しながら対応を進めてまいります。今後も保健所及び宮城県等関係機関と連携しつつ、ご利用者の健康と安全確保を第一に、感染拡大防止に努めて参ります。

ご本人、ご家族の皆様には、不安な思いをされていることと存じますが、当グループとしても情報を常に開示しながら善処して参りますので、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

本情報の取り扱いにつきましては、感染者本人および濃厚接触者等の人権への配慮と個人情報保護にご理解いただきますようお願い申し上げます。

※お問い合わせ窓口※

清山会グループ感染対策統括マネージャー

鈴木徳(a-suzuki@izuminomori.jp)